

答 辞

冬の寒さも和らぎ、桜のつぼみが色づき始めた今日の佳き日に、私たち12名はこの思い出多き学び舎を巣立ちます。先ほどの励ましの言葉をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。もうでなく、あっという間に過ぎていった3年間。今、仲間と過ごした1日1日が鮮明に蘇ってきます。豊間小学校からのメンバーに、新しい仲間が3人加わり、13人でスタートした中学校生活。2年生になり、初めて「先輩」と呼ばれたときは、恥ずかしさとも嬉しさを感じました。自分の理想とする先輩像に、一歩で近づけるよう、後輩をリードしてきたつもりです。また、地域の行事でもできました。踊り終わった後に、たくさんの温かい拍手をいただき、達成感で一杯になったことを覚えています。しかし、2年生の3月から、新型コロナウイルスの影響で、休校になってしまいました。みんなと再会できると、喜び勇んで登校し始めた3年生の4月。再び休校になってしまい、私たちは何度、コロナの前の、いつもの生活に戻りたいと願ったことでしょうか。毎日の生活も、マスクやフェイスシールド着用が当然になり、楽しくおしゃべりしながら食べていた給食も、前を向いたまま静かに食べるのが普通になりました。今まで当たり前だと思っていたことが制限されたことで、これまでの自分の生活が、いかに幸せだったのかということは何度も実感した一年間でした。例年通り行えない行事もたくさんありましたが、実施できた行事もあります。夏休みに行われた最後の中体連。自分のプレーがうまくいかず悩んだこと。支えてくれたチームメイト。必死になってボールを追いかけた日々。全てを出し切り、悔いなく部活動を終えることができました。友達の新たな一面を発見することができた尾瀬への修学旅行。この旅行を通して、深まった私たちの絆。そして、最後のみよび祭。ゼロから創り上げる劇は、完成するまで紆余曲折がたくさんありました。本番が迫ってくる中、自分たちの甘さを指摘され、ようやく本気になった私たち。本番は、よい劇にしようと、全員が自分の殻を破って精一杯演技しました。後輩へのメッセージのつもりでしたが、あの劇を通して、私たちも「チェンジ」できたのかもしれない。劇が終わった後、私たちは仲間と共に一つのを創り上げたという、充実感や達成感で胸が一杯になっていました。文化祭が終わると、受験に向かい勉強に励む日々が続きました。点数が上がらず、苦しい時期もありました。思うように勉強できない自分を、持て余したこともあります。そんな時、隣の席で一生懸命勉強している友達の存在に、何度救われたのでしょうか。みんながいたから、「高校受験」という初めての関門を乗り越えることができたのだと思います。私たちも、この豊間中で、つらいことも嬉しいことも共に分かち合え、仲間を得ました。私たちの教室は、いつも元気な声がかげ響き渡り、笑顔であふれていました。充実した3年間と、た

さんの数え切れな思い出をありがとう。私は、みんなとか
けがえの3年間と協力する大切さを、自分で考え、意見を伝えること
の重性先か、導き、励ましてくださったお陰で、私たちはたく
さの温かこりが合っでいきなさん。今日まで私たちを支えてくださり、あり
かいら歩者ございまし。素直になれないこともありましたが、心
がと中では、いつも頼りにしていました。新たな道を歩み始める
私たを、これからも支えてください。
ざ在校生のみなさん、私たちを助けてくださり、ありがとうご
に引き継ぎ、みなさんが考える理想の豊間中に、一歩でも近づ
けるよ頑張ってください
私たちは、今日から、自分で選んだ、それぞれの道を歩み始
めます。目の前に高い壁が立ちましたときには、この豊間
中学校で仲間と過ごした日々を思い出し、壁を乗り越える力
に輝く未来に向かって、歩んでいきたいと思ひます。
私たを温かく見守ってくださったすべての方々に、心か
ら感謝を申し上げ、豊間中学校のさらなるご発展とみなさま
の多幸をお祈りし、答辞といたします。

令和3年3月12日

卒業生代表